

3. 社会環境

3.1 土地利用

雄物川の流域は、秋田県の県都秋田市や大仙市など5市2町1村の市町村からなり、流域の土地利用は山林等が77%、水田や畑地等の農地が約19%、宅地等の市街地が約4%となっており、特に水田は秋田県全体の約半分を占める有数の穀倉地帯である。

表 3-1 流域内市町村土地利用状況

市町村	土地利用面積(km ²)						合計
	田	畑	宅地	山林	原野	その他	
秋田市	112.04	16.88	72.07	558.83	28.63	21.62	810.07
仙北市	61.31	10.99	14.68	923.45	96.80	45.28	1152.50
大仙市	213.22	22.51	34.74	516.80	14.97	26.30	828.55
美郷町	69.62	4.43	8.67	72.72	1.11	2.04	158.59
横手市	180.79	27.59	31.37	364.59	14.96	14.11	633.41
羽後町	34.56	9.14	6.40	88.39	0.28	3.17	141.95
湯沢市	76.99	17.89	16.65	631.40	22.63	11.31	776.86
東成瀬村	7.47	3.56	1.19	164.77	29.51	1.57	208.06
合計	755.99	113.00	185.78	3320.96	208.88	125.40	4710.00

国土数値情報「K S - 2 0 0 - 1」土地利用面積より

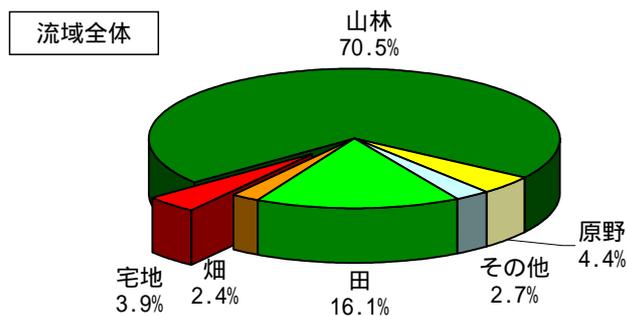


図 3-1 流域内市町村の土地利用状況

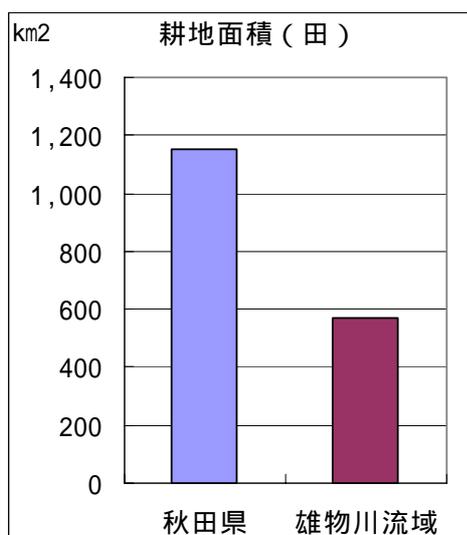
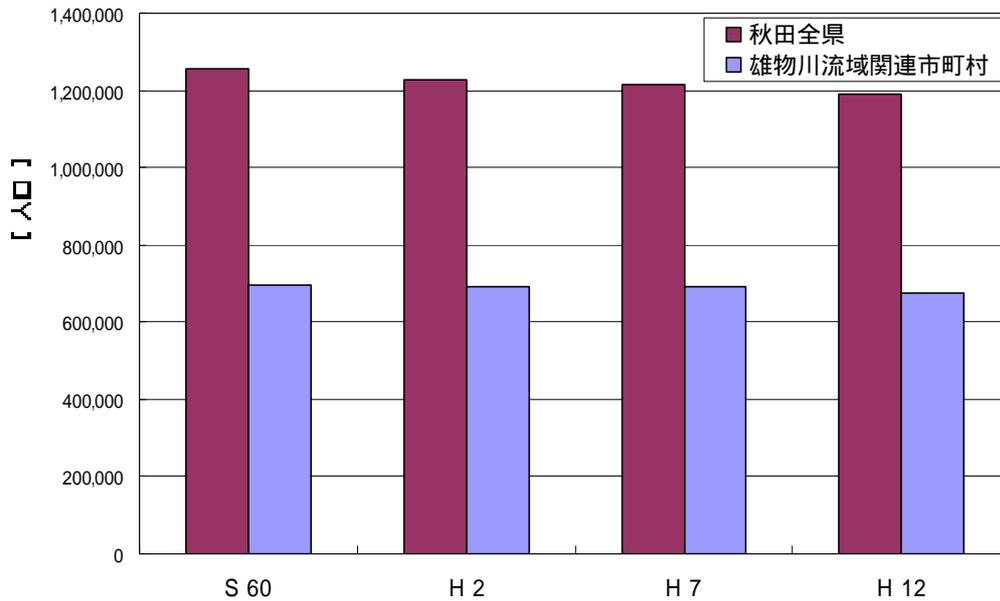


図 3-1 秋田県全体と雄物川流域内の耕地面積比較

3. 社会環境

3.2 人口

秋田県の人口は近年減少傾向にあり、雄物川流域内市町村の人口も減少傾向である。県都秋田市では平成7年度の国勢調査までは人口が増加していたが、平成12年国勢調査で減少に転じた。



市町村名(旧名)	面積(km ²) <small>H12河川現況調査</small>	人口(人)				
		S 60	H 2	H 7	H 12	
秋 田 市	(秋田市)	377.40	296,400	302,362	311,948	300,465
	(河辺町)	300.20	11,432	11,152	10,906	10,934
	(雄和町)	126.30	8,718	9,184	8,743	8,531
	(計)	803.90	316,550	322,698	331,597	319,930
大 仙 市	(大曲市)	105.20	41,545	40,429	39,922	39,627
	(神岡町)	35.60	6,498	6,438	6,346	6,383
	(西仙北町)	167.80	12,440	12,140	11,554	11,544
	(中仙町)	78.20	12,930	12,745	12,177	12,354
	(協和町)	247.20	10,348	10,013	9,615	9,609
	(南外村)	98.40	5,248	5,136	4,990	5,028
	(仙北町)	29.40	8,452	8,357	8,122	8,469
	(太田町)	103.50	8,465	8,306	8,153	8,252
	(計)	865.30	105,926	103,564	100,879	101,266
横 手 市	(横手市)	110.40	43,266	42,294	41,462	40,935
	(増田町)	74.00	10,153	9,869	9,516	9,625
	(平鹿町)	63.60	16,683	16,119	15,545	16,279
	(雄物川町)	72.80	12,941	12,470	12,054	11,675
	(大森町)	90.20	8,709	8,644	8,371	8,143
	(十文字町)	37.60	15,536	14,965	14,703	14,828
	(大雄村)	26.50	6,499	6,271	6,108	6,258
	(山内町)	205.00	5,301	5,129	4,841	4,774
(計)	680.10	119,088	115,761	112,600	112,517	
湯 沢 市	(湯沢市)	200.60	37,079	36,539	36,223	35,683
	(稲川町)	65.70	12,087	11,774	11,419	11,485
	(雄勝町)	306.10	11,353	10,976	10,344	10,595
	(皆瀬村)	217.70	3,430	3,248	3,183	3,211
(計)	790.10	63,949	62,537	61,169	60,974	
仙 北 市	(角館町)	156.20	16,644	15,846	15,224	15,200
	(田沢湖町)	671.70	14,891	13,920	13,447	13,394
	(西木村)	264.20	6,813	6,531	6,274	6,139
(計)	1,092.10	38,348	36,297	34,945	34,733	
美 郷 町	(六郷町)	38.70	8,016	7,803	7,489	7,121
	(千畑村)	86.90	9,227	9,166	8,940	8,931
	(仙南村)	41.10	9,115	9,018	8,803	9,043
(計)	166.70	26,358	25,987	25,232	25,095	
羽 後 町		128.70	21,248	20,906	20,307	16,410
東 成 瀬 村		204.10	3,818	3,734	3,568	3,498
計		4,731.00	695,285	691,484	690,297	674,423
(公表値)		4,710.00				
全 県		11,612.11	1,254,032	1,227,478	1,213,667	1,189,279

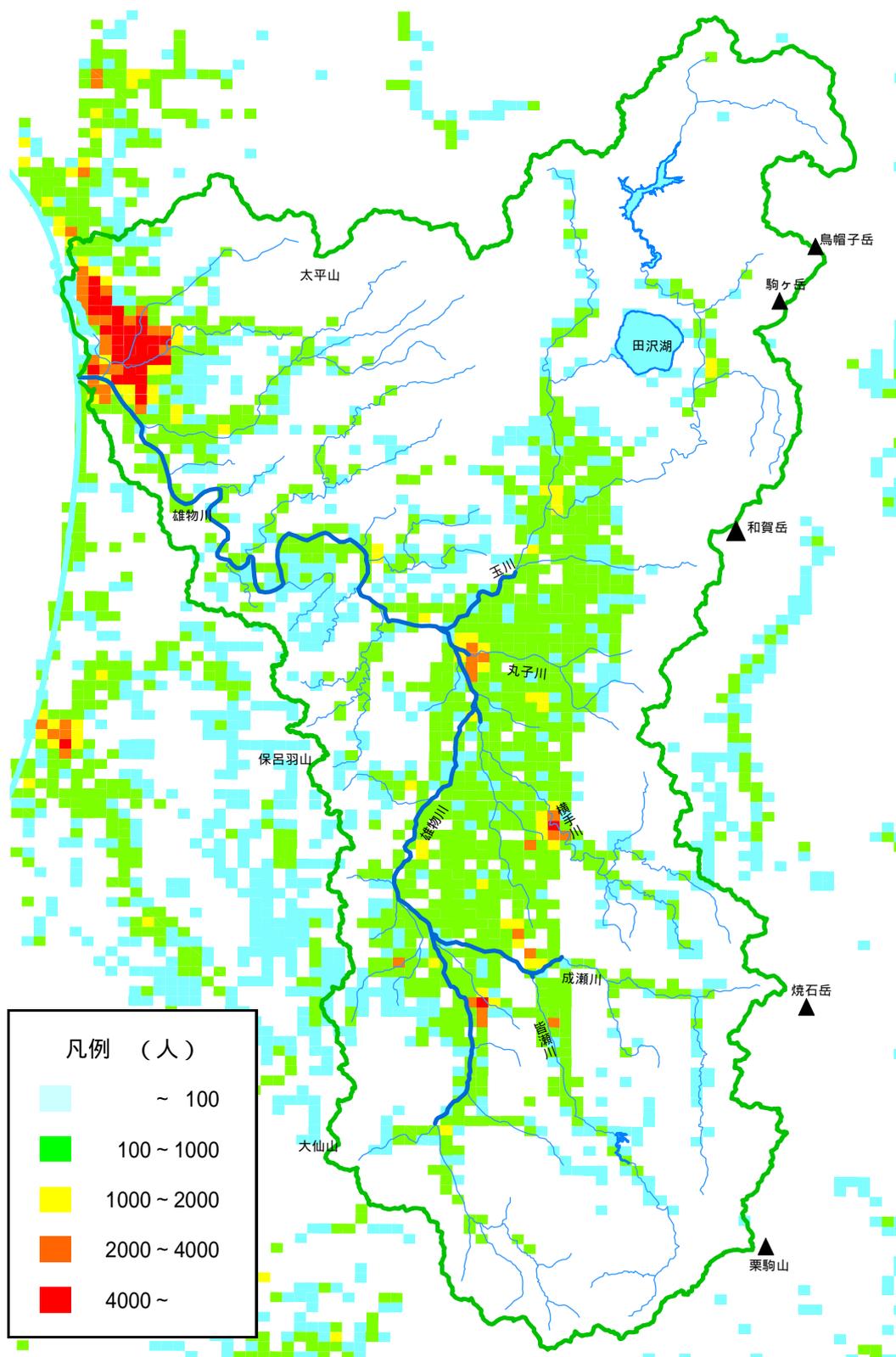


図 3-3 雄物川流域における人口分布図（平成 12 年国勢調査メッシュ統計より）

3. 社会環境

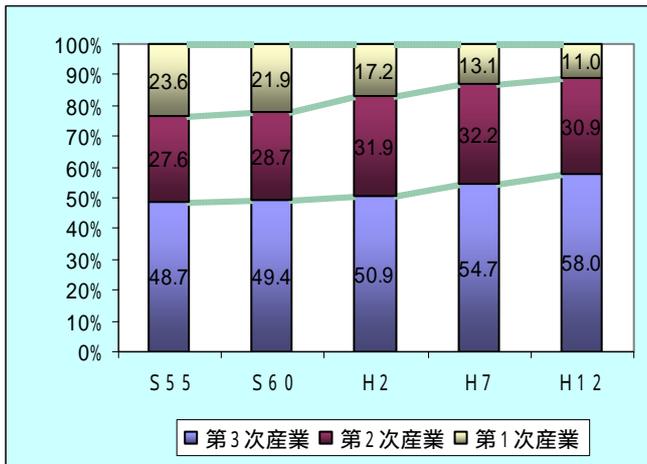
3.3 産業

(1) 秋田県の産業人口

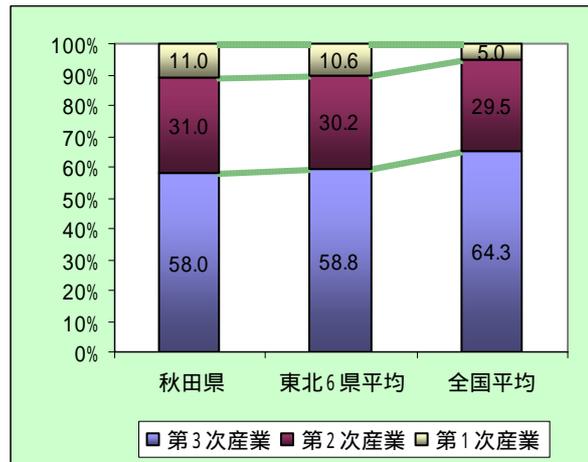
秋田県の産業別就業者数割合は、第一次産業は11%、第二次産業は31%、第三次産業は、58%になる。秋田県は第一次産業全国平均にくらべて約2倍であり農林水産業が盛んである。

雄物川流域での、秋田県全体就業者人口の概ね56%を占めており、第一次産業人口の比率も全体の概ね50%を占めている事から農林水産業が盛んである。

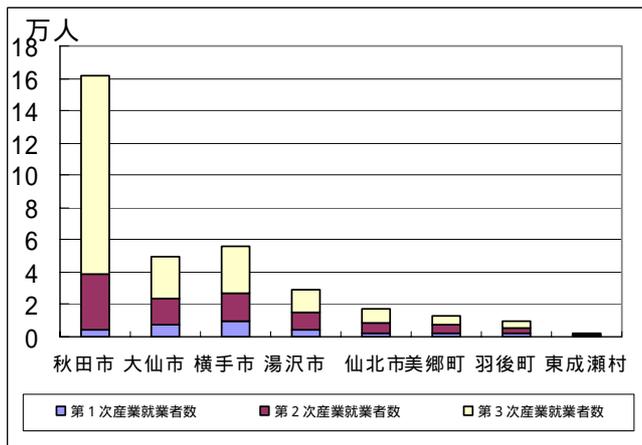
秋田県全体の産業別就業者割合



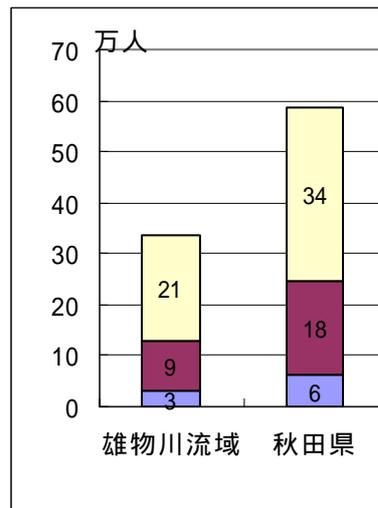
全国、東北六県平均の産業別就業者割合



流域関連市町村の産業別就業



秋田県全体と流域関連市町村の産業別就業者数の比較



(平成12年国勢調査結果より)

図 3-4 雄物川流域内市町村の産業別就業者数

表 3-3 雄物川流域内市町村の産業別就業者数

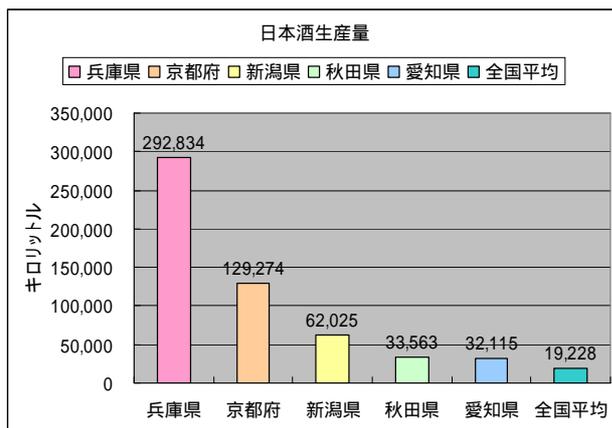
	第1次産業 就業者数 (人)	第2次産業 就業者数 (人)	第3次産業 就業者数 (人)
雄物川流域	33,156	94,160	210,514
秋田市	4,202	34,179	122,853
大仙市	7,710	16,405	26,000
横手市	10,040	17,082	28,798
湯沢市	4,158	11,444	13,826
仙北市	2,410	5,778	9,018
美郷町	2,510	4,539	5,574
羽後町	1,836	4,010	3,794
東成瀬村	290	723	651
秋田県	64,465	181,688	341,462

(2) 秋田県の産業

雄物川流域における代表的な産業は稲作であり、秋田県を象徴する“あきたこまち”品種が全国的にも有名である。また、秋田県の米生産量は全国3位を誇り雄物川流域での出荷量は約50%と大半を占める。また、米所であることから日本酒生産量が全国4位である。

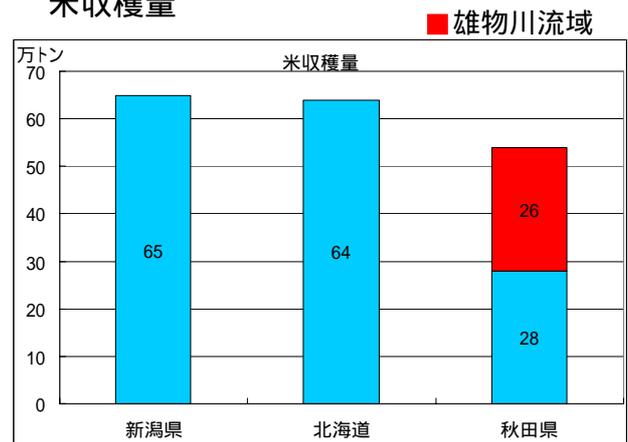
雄物川上流の湯沢市では、讃岐うどん、きしめんにつく日本三大うどんの1つである稲庭うどんが特産品として有名である。

日本酒生産量



平成16年度工業統計表 品目編

米収穫量



農林水産省（農林水産関係県別データ(18年度)）

3.4 交通

雄物川流域内の拠点都市で山形、宮城県と隣接する上流部の湯沢市では、東北中央自動車道、国道 13 号、JR奥羽本線等、中流部の大仙市、横手市では、東北横断自動車道、国道 13 号及び 46 号、秋田新幹線（JR奥羽本線・田沢湖線）下流部の秋田市では、日本海沿岸東北自動車道、国道 7 号、秋田新幹線やJR羽越線が雄物川と並行及び交差しながら整備されており、交通の要衝となっている。

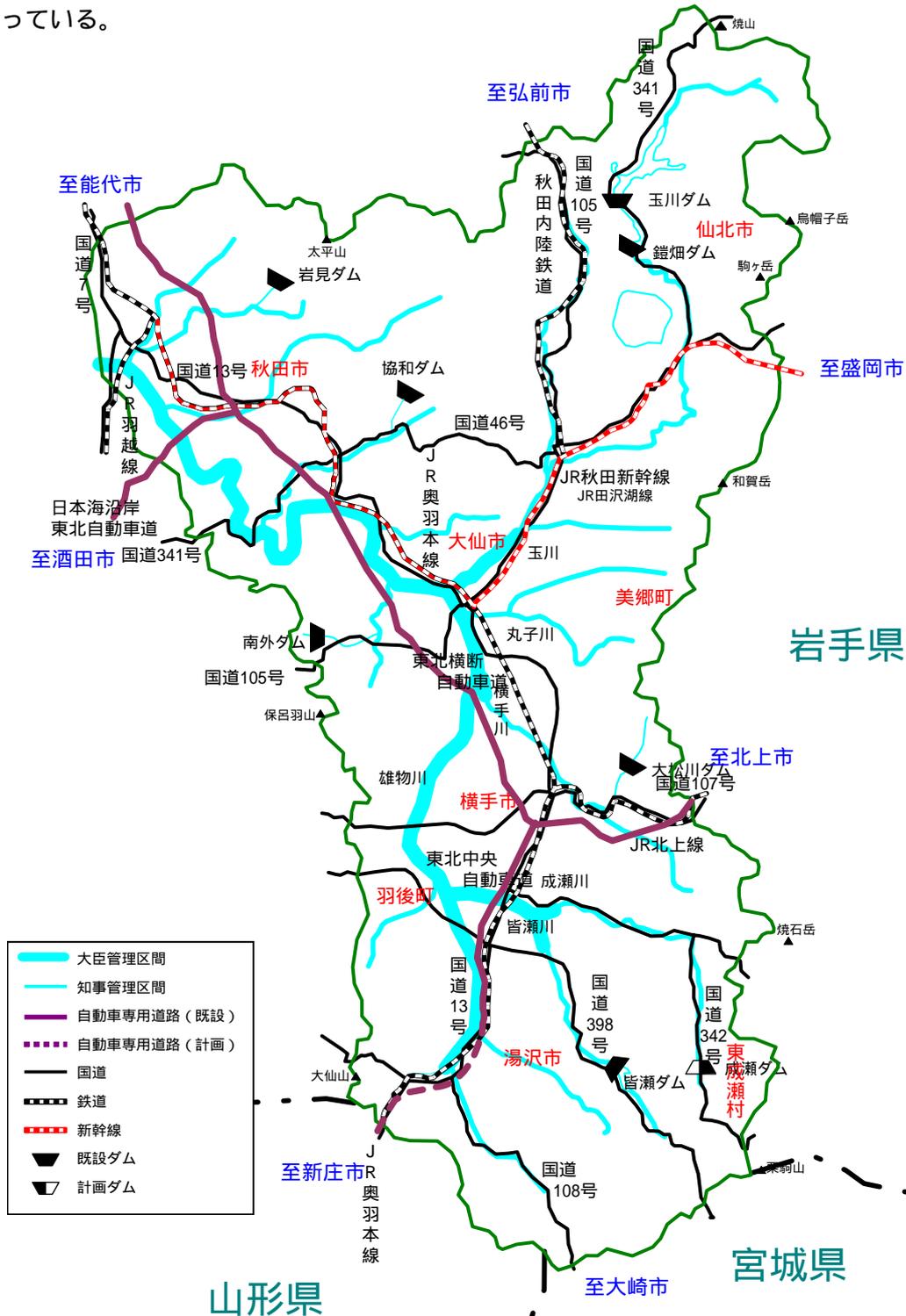


図 3-5 雄物川水系における交通網